

第1回動画コンテスト 最優秀賞受賞者インタビュー

第1回大多喜町動画コンテストにおいて「魅力の町 大多喜 ～Attractive Otaki～」で最優秀賞を受賞された iwapt さん（東京都）に応募のきっかけ、撮影時のエピソード、ご自身や楽曲について伺いました。

i: iwapt u: 動画コンテスト担当

u: iwapt（アーティスト名）さん、改めて最優秀賞受賞おめでとうございます。授賞式から1ヶ月ほど経ちますが、今はどんなご心境でしょうか？

i: 作品を通じて大多喜町の活性化に貢献できることを光栄に思います。また、映像の反響がとてもよく、観てくださった多くの方が幸せな気持ちになれたら、制作者としてこれほど嬉しいことはありません。こうした喜びとともに、今は次の創作にも思いを馳せているところです。

最優秀賞受賞者 iwapt さんと大多喜城



u: 創作とは、どのようなことをされているのですか？ 応募のきっかけは？

i: もともとはシンガーソングライターでロック、ヒップホップ、ブラックミュージック、クラブミュージックなどを手がけてきました。時代が変わり、今は音楽単体というより、映像を入口に音楽を聴いてもらえる潮流ですので、私も幅を広げて映像クリエイターとしても活動しています。近ごろは、映像×オリジナル楽曲の表現で多数評価をいただいています。

大多喜町のコンテストについては、映像専門誌「VIDEO JOURnAL」から解説を依頼されたのを機に、新型ドローンのテスト飛行場所を探していたときに目に留まりました。技術は日進月歩。あぐらをかかず新しい技術についていく必要があります。コンテストは自身をアップデートするには良い機会です。また、組織の名で制作したものは組織の作品になりますので個人でプロデュースした実績を残す仕組みとしてもコンテストを活用したいと思いました。とはいえ、実際に大多喜町に赴き、撮り終えて「いい作品になりそうだ！」と確信し、仮に敗れても（優勝しなくても）悔いはない、と思えたときに応募が決心できました。

u: そうだったんですね。iwapt さんは長崎県主催のコンテストをはじめ、江東区（東京）、木更津市（千葉）、新十津川町（北海道）、加須市（埼玉）、海外はフィリピンでグランプリを獲得されていますね。どれも素晴らしいのですが、その中でも「魅力の町 大多喜 ～Attractive Otaki～」はダントツだと思います。ご自身ではどのように？

i: 大多喜町の素材があつてですが、美しい作品に仕上がったと思います。流行りのトランジション（というテクニック）を用いたことも功を奏したかもしれません。

大多喜町の強みは、歴史と自然 — 山に川、花が咲き、動物が息づき、海にも近い。滞在中はさまざまな体験が楽しめることです。しかも東京、神奈川、成田空港、羽田空港からわずか60-80分とアクセスがよい。この動画をきっかけに海外からも大勢来ていただけたら嬉しいです。そう願って英語のテロップも入れました。コンテストのテーマ「住んでよし」にも留意しましたので、移住定住や町づくりの文脈でもお役に立てるはず。町の発展のためにいろいろな機会でお使いください。

u: 大多喜町滞在中のエピソードがあれば教えてください。

i: 撮影のため夜明けに麻綿原高原へ向かう途中、サルや鹿の群れに遭遇しました。別の日にも弘文洞跡でサルを見かけました。東京からわずか80分にして天然のサファリパークのようだ！と驚くばかりでした。

麻綿原高原につくと、妙法生寺の住職が「本当に言われた通りフル装備で来たな」と笑顔で迎えてくれました。私は首にタオル、長袖、長靴、虫よけスプレー！とヤマビル対策は万全でした。（溪谷で釣り人がヒルに遭っていたので、予め寺と観光協会にコツを聞いていたのです）寺の境内である天拝園は、山の斜面一帯にアジサイが咲き誇り芸術的。時期を待って行った甲斐がありました。山頂の奥の院まで朝5時にひとりで登ったのですが、熊が出るのではと思いました。後に住職から「この（大多喜の）山は熊がいないのが自慢だ」といわれ、熊が出ないことを知りました。ハイキング、サイクリングも思い切り楽しめますね。



麻綿原高原 動画のワンシーン(ドローンを駆使)

里山では蛍が見られ感激しました。暗闇に幻想的に光る蛍を見るのは子どものとき以来です。滞在していた蔵の宿の女将が教えてくださいました。食事処 番所は、夜遅く撮影を終えたころ、町内の飲食店がほとんど閉まるなかで見つけました。偶然でしたが、特産品である猪のジビエが食べられ、しかも美味しくてよかったです。

u: 今回作品で使われた楽曲「Dr.Clinic」についてお聞かせください。映像と音楽がぴったりだと感じたのですが、自身の楽曲がいろいろあるなかで、なぜこの曲を選ばれたのですか？ また、どんな曲なのでしょうか？

i: これは理屈ではないのですが、撮影をしていると音楽のほうから自然とやってきます。大多喜町の場合は「Dr.Clinic」が聴こえました。いったん曲が決まればそのメロディーに映像を組み込むように作品ができあがっていきます。

ちなみにこの曲の原型は20年以上前、多感な高校時代に遡ります。自分でもうまく言葉にならないものが音楽になりました。カタチになったのは大学卒業後です。

この曲は別の意味でも私にとって特別な曲です。私の音楽を引き抜いてくれた日本の音楽プロデューサーか

らの勧めで、フィリピンのスタジオにデモテープを送ったところ、伝手はないなか大手テレビ局 GMA の「Buena mano」(2014年/日本でいう徹子の部屋のような番組)からのオファーがありスタジオで歌いました。国民的ラジオドラマ「Handumanan sa Usa ka Awit」(2015年/日本でいうサザエさんのような番組)と「Yakusoku」(2016年/恋愛ドラマ)のテーマソングにも採用されました。

u: 今回受賞直後、フィリピンのセブ・デイリーニュース CDN に取り上げられたのもフィリピンでの活動が評価されていたからですね。大多喜町の動画に貴重な曲を用いてくださったのですね。

i: 大多喜の美しい風景にもの凄くマッチしたと思います。

u: 最優秀賞に輝いたご自身に、今どのような言葉をかけたいですか？

i: 音楽、映像と、自分がやってきたことは間違っていなかった。芸術を通じて人々や地域に喜んでもらえたことが嬉しいです。

u: 最後に、次回以降のコンテストに応募を検討されている方へ、ひとことお願いします。

i: このコンテストは「ただの大会ではない」といいたいです。町、地域の発展に寄与できる、社会に貢献できるコンテストです。今回入賞された他の作品も拝見しましたが、制作の工夫やテクニック、大多喜町に対する思いなどが素晴らしかったです。他の方の視点を知ることでも私も学べましたので、次回もいろいろな作品を観てみたいです。応募を検討されている方は、ぜひチャレンジしてみてください。

u: ありがとうございます。iwapt さんもお自身が納得いくかたちで高みを目指されていく感じですね。さらなるご活躍を心よりお祈りしています。今回は大多喜町のために作品をありがとうございました。



チーバくんプラザ(三井アウトレットパーク木更津内)

サイネージで「魅力の町 大多喜～
Attractive Otaki～」放映中！



iwapt さんについては iwapt
facebook で検索いただけます。

動画の冒頭シーン

YouTube <https://youtu.be/aa72Sffeuol>

大多喜町動画コンテスト

第2回 ～作品受付中(〆切:令和1月31日)～

問合せ 大多喜町役場 商工観光課 交流促進係 電話 0470-82-2176

